

# チャレンジいばらき



## いばらきチャレンジアワード「支え合い2022」 ファイナリストプレゼンテーション・表彰式

特集

### 地域で育てる未来の宝

クローニーチャット/NPO法人ノースマーク

- ▶ 花いっぱい運動定着化促進事業 認定証交付式
- ▶ 社会活動デビューセミナー
- ▶ ネットワーカーの活動紹介
- ▶ 団体会員を訪ねてVOL.4
- ▶ 茨城県企業連携型 NPO活動支援事業

いばらきチャレンジアワード  
「支え合い2022」



クローニーチャット



NPO法人 ノースマーク



ひぬま流域クリーン作戦



花いっぱい運動定着化促進事業

# いばらきチャレンジアワード 「支え合い2022」



## いばらき チャレンジアワード 「支え合い2022」

## ファイナリスト プレゼンテーション・ 表彰式

令和4年 11月23日(水)祝  
茨城県立図書館

社会の新しい力になってみたいと考えている方々が、福祉、環境、青少年育成、防犯・防災、地域づくり、コミュニティづくり、SDGsの推進など、様々な分野における課題解決に向けて行う「社会貢献のための独自性の高い活動プラン」の中から、優秀なプランを表彰する「いばらきチャレンジアワード」。社会活動に向けてのチャレンジ精神醸成、非営利の社会貢献活動促進を目的としています。

応募された46件の中から一次審査を通過した7組は、オンライン配信も含めた公開プレゼンテーションに臨み、8分の制限時間内で熱意を伝えるだけでなく、審査員や聴衆に新たな気付きを与える場面もありました。

知事賞を受賞した「For Everyone Study」の活動は、不登校児童生徒と年の近い若者によるオンライン形式支援の発展性や、専門家や親との連携、支援を受けて成長した子供達が支援する側に戻るという循環を生み出しつつあること、若手人材の育成にもつながること等が高く評価されました。



### 《茨城県知事賞》

#### For Everyone Study

代表	植竹 智央 さん
事業プラン	大学生や高校生による不登校児童生徒へのオンラインでの支援活動 ～オンラインでの新しい場所の創出～

### 《チャレンジいばらき県民運動理事長賞》

#### Big smile project

代表	本橋 綾子 さん
事業プラン	子ども食堂とドローン教室で 夢と笑顔が広がる社会をつくる Big smile project

### 《奨励賞》

#### NPO法人 ちいきの学校

理事長	大久保 泰子 さん
事業プラン	介護助手養成 ちいすけ

### 《奨励賞》

#### 高校生の社会参画ネットワーク「一つ空の下で(UNSAM)」

代表コーチ	大滝 修 さん
事業プラン	高校生コンソーシアムと地域が協同する 『学びのサポート』活動

### 《日東電気株式会社賞》

#### 減災活動団体 akari

代表	森川 もえ さん
事業プラン	おみやげ話のように広がる減災啓発ギフト

### 《水戸ヤクルト販売株式会社賞》

#### 特定非営利活動法人 いろいろ

理事長	小松澤 史江 さん
事業プラン	家庭訪問による手芸コミュニケーション

### 《茨城トヨペット株式会社賞》

#### 加藤 光敏 さん

事業プラン	障がい者に対する金融法律のリテラシー教育
-------	----------------------

# 社会活動デビュー

## 支援事業

地域の困りごとの解決など、これから社会の新しい力になってみたいと考えている方々が、「はじめの一步」をスムーズに踏み出すための支援として、交流会とセミナーを行いました。

### 活動を行う上での地域との向き合い方 —社会貢献ソーシャルビジネスの考え方—

令和4年 11月12日(土)  
茨城県三の丸庁舎

公共施設やコワーキングスペース等の場づくりを通じて、利用者との関係を「同じものを目指す仲間」として、地域を巻き込みながらワクワクを形にする実験場としてまちづくりを進めています。空きビルを活用したシェアアトリエもその一つで、地元の図書館とのワークショップの共同開催など、地域との交流も重視した活動が持続する秘訣です。自分や身近な人のために始めたことも、広がりを見せ社会を変えることにつながります。大切なのは誰に何を届けたいかです。



まちづくり会社ドラマチック  
今村 ひろゆきさん

人口減少が進む中、当たり前の公共サービスが受けられなくなると考え、「私設公共」の社会実験として「みんなの図書館さんかく」を開館しました。地域住民の参加がコストを抑えた運営を可能にしています。人を巻き込むコツは、関わり方の余白をつくること、こだわり過ぎないことです。関わり方のデザインにより、共感者が参加しやすくなります。インプットした学びをアウトプットし、まずは一步を踏み出しはいかがでしょうか。



一般社団法人トリナス  
土肥 潤也さん

### 地域活動に必要な情報発信のやり方 —共感だけではない、地域貢献活動の情報発信—

令和4年 12月3日(土)  
茨城県三の丸庁舎

インスタグラムは世界観を写真で伝えたり物品を販売したりするのに最適、Facebookなら信頼できる共通の友達を増やすために必須、というように、SNSは情報発信の目的に応じて使い分けことが大切です。SNSを自分のメディアとして、意見交換や物語への共感、課題の共有など受け取る側とのコミュニケーションに活用する。そこで築かれた関係から、新しい共感を呼ぶことにつながります。



株式会社FRASCO  
尾崎 香苗さん

地域活動の情報発信にこそ、クラウドファンディング(CF)の利用が向いています。目新しいものとして認識されるCF。地方で始めるとなればメディアにも取り上げられ、それを機にSNSで拡散されることで全国からの支援、共感を得ることも可能です。ネットを通じた資金調達のイメージが強いCFですが、情報がネットに残りそれが広告として機能したり、実績が新たな融資獲得につながったり、様々な形で地域活動に活かされます。



株式会社リバ郵  
大堀 悟さん

### 地域活動/社会貢献活動に必要な資金の集め方 —地域に根差したソーシャルグッドな資金調達—

令和5年 1月14日(土)  
茨城県三の丸庁舎

東日本大震災以降、地域復興・地域振興支援プロジェクトにより、地域経済や地域の振興に取り組んできました。新たに策定したSDGs推進プロジェクトでは、スローガン「地域のために 未来のために」のもと、豊かな地域社会の実現に貢献します。資金の集め方は多様化しており、クラウドファンディング、補助金、融資等があります。融資に値するかは、社会性・地域貢献度・事業(資金)計画がポイントとなるため、やりたいことを明確にすることが重要です。また、他業界とのつながりは利点が大きいいため積極的な交流を心がけてください。



筑波銀行  
渡辺 一洋さん

つくば市北条地区に古民家を改修し、人の営みとつながりによって育つ場「iriai Tempo(イライイテンポ)」をオープンしました。事業を始めるにあたり、つくば市主催の地域活性化プランのコンペに採択され、賞金200万円をゲット。その後、クラウドファンディング(手数料、返礼品分を組み込んで目標額を設定)や筑波銀行からの融資で運営資金を調達しました。ステップの大小に関係なく、やりたいと思ったらとりあえずやってみる、それから考えてみませんか。



合同会社 iriai Tempo  
橋永 貴郁さん



令和  
4年度

令和4年 12月1日(木) 茨城県三の丸庁舎

# 花いっぱい 運動定着化 促進事業

認定証交付式

「花壇づくり」を通して地域コミュニティの再生・活性化を図ることを目的に、公益財団法人 げんでん ふれあい茨城財団との共催により実施しました。

認定証交付式では、今年度、認定された24の団体および学校に、チャレンジいばらき県民運動 阿部理事長、(公財)げんでんふれあい茨城財団 高橋専務理事より、認定証の交付と併せて目録と花壇に設置する看板が贈呈されました。講演会では、(株)砂押園芸の砂押代表取締役及び(株)坂田園芸の完賀代表取締役社長を講師に招き、土づくりや花壇デザインに関して、実例を交えてアドバイスをいただきました。初めて認定された小学校の先生は、「学校の花壇は児童と共に地域の方たちにも大切にされています。この認定は大きな励みになります。」と笑顔でお話してくれました。

市町村	団体・学校名
水戸市	水戸市ランド常磐の会
土浦市	土浦市三中地区市民委員会 環境部
下妻市	花と一万人の会
常総市	杉山桜会 シルバークラブ
常総市	森下町内会
常陸太田市	源氏川の彼岸花を保存する会
常陸太田市	三才町長寿会
笠間市	大田町寿会
笠間市	旭町西区会
牛久市	つつじが丘ふれあい花の会
つくば市	松栄ロータリークラブ (松栄自治会同好会)
つくば市	つくば市富士見台遊悠倶楽部
つくば市	桜寿会
鹿嶋市	憩いの広場
鉾田市	田崎友遊会
東海村	真崎地区自治会(建設・環境部会)
東海村	NPO法人 村松学童クラブ育成会
阿見町	みんなで育てる花の会
古河市	古河市立駒羽根小学校
つくば市	つくば市立沼崎小学校
鹿嶋市	鹿嶋市立中野西小学校
坂東市	坂東市立岩井第一小学校
茨城町	まさみ幼稚園
東海村	東海村立中丸小学校

## あいさつ・ 声かけ運動を 実施しました。



「あいさつ・声かけ運動」は、家庭・学校・地域でコミュニケーションの輪を広げるとともに、明るく安全で住みよい地域社会づくりにも役立っています。

「あいさつ・声かけ運動」街頭キャンペーンは、(公社)茨城県青少年育成協会、青少年育成市町村民会議、チャレンジいばらき県民運動の3団体が主催し、「あいさつ・声かけ運動」を周知するとともに、県民自ら「あいさつ・声かけ」を実践するよう呼びかけることを目的に、令和4年10月から12月にかけて県内各地で、地域の方々や各駅の利用者、イベント参加者に向けて行われました。



# 地域で育てる未来の宝

## クローニーチャット《行方市》 ～人形劇で子どもの情操教育とふるさとの誇りを伝承～

PICK UP



✓ 読んだ絵本の感動を子ども達にも伝えたい!が活動の原点

✓ 行方市のエリア放送局「なめテレ」で人形劇2作品を紹介

✓ 後継者を募り、育てながら、まだまだ長く続けていきたい

絵本や地元の民話を題材に、見て楽しいだけでなく、感動や道徳心を育み、郷土の歴史を学べる人形劇を創作し披露しています。感情豊かに動く人形達や、仕掛け満載の小道具、台本、音楽療法を取り入れた生演奏に至るまで、各メンバーが持つ発想力と、型紙づくり、手縫い、動物成形などの特技を活かして、全ての作品を手作りしています。同会は、平成11年「6年生を送る会」で、人形劇「牛方と山姥」を披露した母親文庫のメンバーを中心に発足し、地域の公民館や幼稚園、小学校を中心に活動して24年目。メンバーは「見ている人だけでなく、自分達も楽しいから続けている」と話しています。また、当時子どもだった世代から「今でもあの感動を覚えている」という声を聞き、自分達の活動意義を再認識したという皆さん。コロナ禍で公演が減っても歩みを止めず、新作「孝子弥作」披露に向けて準備を続けています。

代表 原目 光枝さん、小山 恵子さん、川島 裕子さん、鈴木 久仁子さん、戸田 しづ子さん、荒井 裕子さん

PICK UP

## NPO法人ノースマーク《笠間市》

～「体験」を通して子どもたちの心を豊かに～

✓ 体験して身に付けた「生きる知恵」が「生きるスキル」を育む

✓ 「親子で一緒に」初めてを体験し、同じ目線になれる点が魅力

✓ 子ども達が覚えた事を家で自慢し、褒めてもらえるようにしたい

小学校の授業で尾瀬に興味を持った塩田さん。数年後に家族旅行で現地を訪れ、自然体験と、活躍するレンジャーの姿に感動した経験から、「自然を守るために必要なのは、自然を知る体験」と感じ、それを地元で広めたいと20代で同級生達と同会を発足。以降約15年にわたり、「日常と隣り合わせの非日常を大人と子どもと一緒に楽しむ」をテーマにした体験の場を提供しています。地元の子供会や幼稚園、企業のオファーを中心にプログラムを企画、地域とも協力して、大人も子供も楽しめる活動を行っています。自然体験を軸とした星空観察会、ムササビ観察会、初心者向け親子キャンプが人気ですが、コロナ禍で活動回数を増やせず、同時に、スタッフが集まりにくいのが悩み。塩田さんは、小規模でも今できる内容で活動を続けながら、新たな仲間を増やし、制限なく活動できる日に向けて体制を整えたい、と話していました。

代表 塩田 昌和さん



詳しくはコチラ▶



# 県民運動を地域で支える 地域活動員の活動紹介

ネットワークー

## 茨城町ネットワークー等 連絡協議会

平成15年11月設立。私たち茨城町ネットワークーは、「公共事業の手の届きにくい場所の美化運動」を目標に掲げ、会員9名（男性4名、女性5名）で活動しています。



チャレンジいばらき県民運動

ネットワークー  
募集中!

設立間もない時期に、先進のネットワークーの皆さんから「あなたの町には、茨城県に唯一の公共資源『涸沼』がある。その資源をいかに後生につないでいくか、それが茨城町ネットワークーの使命でしょう。」のご指導をいただき、それ以来、涸沼という公共資源を取り巻く環境整備を中心に活動を続けています。本会主催で開催する「涸沼クリーン作戦」は、300人ほどの応援者を得た中で、例年2月に実施しています。また、環境保全茨城町民会議が開催する「茨城町環境フェスティバル」への参画や、「チャレいばらき助け合い隊応援事業」により涸沼周辺のサイクリングロードや歩行者用道路の除草作業を実施することで、さらなる充実感を得ました。今後も、涸沼の環境保全活動を中心に、町、県や各種団体と連携した活動に取り組んでまいります。

会長 照沼 一美

地域活動員（ネットワークー）は、居住する地域において、地域の人たちのネットワークづくりや住み良い地域づくりに取り組んでおり、現在、約800名の方々が県内各地で活躍しています。皆さんも、一緒に活動しませんか？

詳しくは、お住まいの  
市町村へお問い合わせ  
ください。

## 団体会員を訪ねて Vol.4

東京海上日動火災保険(株) 茨城自動車営業部  
営業第1課

茨城県水戸市宮町1-3-41 メットライフ水戸ビル6F 事業内容 損害保険事業



SDGs推進プロジェクト  
チームリーダー 中村 理沙さん

「いついかなる時も、いちばんそばに。」人と社会の「いざ」を支える保険会社。ニーズにあわせた保険の普及、安全運転やエコドライブに効果的なドライブレコーダーの普及、ペーパーレス推進など、SDGsに繋がる活動にも取り組んでいます。

昨年度4月に同部に発足した社会貢献プロジェクトチーム。今年度はSDGs推進プロジェクトチームとして若手からベテランまで7名のメンバーで「自分達が今できる事」を視野広く模索し、有益な情報は社内メールを活用して部全体で共有、一人一人が協力して目標達成に向けて取り組む体制づくりに挑んでいます。手提げ紙袋とポリ袋の使用を減らすため、初年度はオリジナルエコバッグ、今年度は新聞紙製ごみ袋を制作。社内で使い始めると、少しずつ関心を持つ社員が増え、各々の行動や習慣にも変化が見えてきて、社内外にSDGsの意識が高まってきている。リーダーの中村さんは、震災後の石巻に派遣された際、保険が人の役に立つ様子を目の当たりにした事、また、防災、減災教育の重要性を感じた事から、自社が行う保険普及業務や学校・イベント向け防災授業の実施も社会貢献の一つと考えるようになった、と話しており、業務も社内プロジェクトも垣根なく、よりよい社会づくりに向けて熱心に取り組む姿が印象的でした。

## チャレンジいばらき県民運動 会員募集

- ★団体会員（年会費） 10,000円
- ★個人賛助会員（年会費） 2,000円



チャレンジいばらき県民運動では、福祉、環境、青少年、防犯・防災など様々な分野での地域活動・市民活動を、県民・団体・企業・行政が手を繋いで支え合い、共助による新しい茨城の実現に向けて、社会の課題に挑戦する県民運動を展開しています。このような趣旨にご賛同され、運動に参加していただける団体・企業、個人の会員を募集しております。





# 茨城県企業連携型 NPO活動支援事業

少子高齢化等により、多様な主体が助け合いにより支え合う共助の取組がこれまで以上に重要になっています。

このため、茨城県では、県と企業が協調し、地域貢献活動を行うNPO法人等に対して助成（寄付）を行う「茨城県企業連携型NPO活動支援事業」を今年度から新たに創設しました。これまで、チャレンジいばらき県民運動の会員企業をはじめ、多くの企業からご協力をいただき、環境や青少年・子どもの健全育成、防災・安全など様々な分野の活動（計30事業）に対して活動費等の助成を行っています。茨城県では、今後も様々な取組を通じ、共助社会の推進を図ってまいります。

事業名称（寄付協力企業）	分野	NPO名称
茨城トヨペット NPO活動支援事業 (茨城トヨペット株式会社)	環境	NPO法人アサザ基金
	教育	NPO法人ちいきの学校
	青少年・子ども	NPO法人マナーズ
	防災・安全	NPO法人いばらき救命教育・AEDプロジェクト
	まちづくり	NPO法人グラウンドワーク笠間
すずめい NPO活動支援事業 (鈴縫工業株式会社)	青少年・子ども	NPO法人ひたち親子の広場
		NPO法人ファーストペンギンネットワーク
		NPO法人水戸こどもの劇場
		ami seed
		県西フードパントリー
日東電気グループ NPO活動支援事業 (日東電気株式会社)	環境	NPO法人エコレン
		NPO法人水辺基盤協会
		逆川こどもエコクラブ
	防災・安全	NPO法人わくわくネット65
ザ・ヒロサワ・シティ NPO活動支援事業 (株式会社広沢本社)	まちづくり	NPO法人ふるさと空き家相談・サポート
	青少年・子ども	NPO法人筑西ファミリーサポートセンターまんま
AYA'S LABORATORY NPO活動支援事業 (中山商事株式会社)	医療・福祉	NPO法人きなり
	まちづくり	大煙突とさくら100年プロジェクト
茨城交通株式会社 NPO活動支援事業 (茨城交通株式会社)	青少年・子ども	NPO法人たんたん
ダイヤモンド筑波 NPO活動支援事業 (株式会社セイワ食品)	まちづくり	NPO法人梨想の会
地創研NPO活動支援事業 (一般社団法人地方創生戦略研究所)	まちづくり	NPO法人共楽館を考える集い
モリケンセツ NPO活動支援事業 (森建設株式会社)	環境	砂沼環境連絡協議会
茨城県企業連携型 NPO活動支援事業 (匿名希望)	環境	いばらきサイクリングサポートライダー同好会
		鹿島灘継美隊
		里美の水プロジェクト
	教育	森っこ
	青少年・子ども	NPO法人NGO未来の子どもネットワーク
	医療・福祉	元気食堂ふたば
防災・安全	NPO法人ソフアンアンドソフレ	
合計	30事業	NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ
		環境:9事業、教育:2事業、 青少年・子ども:9事業、医療・福祉:2事業、 防災・安全:3事業、まちづくり:5事業

# ひぬま流域 クリーン作戦

令和4年 10月22日(土) 涸沼自然公園周辺

クリーンアップひぬまネットワークとの共催により、涸沼湖畔の環境美化と自然散策を目的として開催されました。



地域住民・企業・団体・学校関係者・地域活動員（ネットワーク）・県民活動推進員など約400名が参加し、3コースに分かれて清掃活動を行いました。3年ぶりの開催ということもあり、劣化したペットボトルや錆びた空き缶も多く見られました。一人一人が環境に配慮した取り組みを心がけ、自然豊かな環境を後世に引き継いでいけることを願っています。

協賛団体：ラムサール条約登録湿地ひぬまの会  
環境保全茨城県民会議 / (公財) 茨城県開発公社いこいの村涸沼  
イオンタウン(株)イオンタウン水戸南



NPO・地域活動者向け交流・学び合いの場

令和4年度

# 寺子屋 サローン

第31回

令和5年1月28日(土)

県西生涯学習センター

第32回

令和5年2月12日(日)

鹿行生涯学習センター



## 1からのLINE講座 ～LINEの便利な機能を学ぼう～

大学生と不登校児童生徒をオンラインでつなぐ学習支援を行っているFor Everyone Studyの植竹智央さんを講師にお招きし、筑西市と行方市にて、初心者向けのLINE講座を行いました。

友達追加やLINEグループの作成、メッセージと写真の送り方など、LINEの使い方の基礎について、苦手な方のペースに合わせてゆっくりと反復練習をしながら丁寧に学びました。参加した方からは、「大変勉強になった。」「LINEグループの使い方がわかってよかった。」といった嬉しいご感想をいただきました。

参加者募集

令和5年3月12日(日) 13:00～16:00

交流サルーンいばらき

皆さまのご参加をお待ちしております。

各サービスや講座の詳細は、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

交流サルーンいばらき 水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2階  
Tel.029-302-2160 Fax.029-233-0030  
ホームページ ▶ <https://challenge-ibaraki.jp/saloon/>  
E-mail ▶ [saloon@challenge-ibaraki.jp](mailto:saloon@challenge-ibaraki.jp)



〔開館時間〕

9:30～12:00、13:00～17:45

平日・土日

(火曜日・祝日・年末年始は休館)

## 投稿記事を募集しています!

チャレンジいばらき県民運動では、茨城県内各地域の情報や、地域活動員(ネットワーク)の活動の投稿記事を募集しています。投稿していただいた内容は、広報紙「チャレいばらター」や当県民運動ホームページ上でご紹介する予定です。ぜひ、お気軽に投稿してください。

登録方法



「地域活動情報」  
はコチラへ

「取り組み情報」  
はコチラへ



## メルマガ会員を募集しています!

「チャレいばメールマガジン」は、チャレンジいばらき県民運動・交流サルーンいばらきからのお知らせや地域活動の最新情報やお役立ち情報を提供するメールマガジンです。

毎月1回程度お届け予定です。  
ぜひご登録ください!

登録方法

右のQRコードを読み込んでいただくか、下記のメールアドレスに空メールをお送りください。

[challengeibaraki@y.bmd.jp](mailto:challengeibaraki@y.bmd.jp)



編

水戸駅前で、キャリアバックを持った観光客らしき人を見かけると、「どこを回ってきたのですか?茨城県はいかがでしたか?」と聞いてみたくなります。コロナが落ち着いたら、東京の友だちを茨城に案内する約束をしています。果たしてどこに連れて行きましょうか? 偕楽園、袋田の滝、霞ヶ浦で自転車に乗る?はたまた茨城のグルメ、名物は?メロン、あんこう鍋、栗、干し芋?茨城県の歴史も奥深いです。茨城県をもっと勉強しておかなければなりません。アンテナ高くたくさん情報をキャッチして、チャレンジいばらきから、県内だけでなく、全国の、そして世界中の皆様へ、広く茨城の魅力を発信して行けたらいいですね。(県民活動推進員 小坏)

集

後

記

『写り込み』という言葉聞いたことがありますか?例えば、某『夢の国』でわが子の姿を撮影したら、その後ろに熊のPさんが小さく写っていた場合などがそれです。その写真を、自分のブログに掲載するのはOKですか?それともNGですか?皆さん迷いませんか?先日、そんなことを学ぶ機会がありました。この場合、Pさんの大きさ等にもよりますが掲載OKのようです。(ただし、個別具体的な事例に応じて)by 文化庁 そんなことを考えると、本誌を含め、広報誌などの制作に携わっている方々のご苦労は大変なものがあるのはもちろん、デジタル世界の中に否が応でも住んでいる私たちが気をつけなければならないと強く感じた今回の機会でした。(県民活動推進員 中野)

お問い合わせ

## チャレンジいばらき県民運動 広報紙

〔発行〕チャレンジいばらき県民運動 令和5年3月1日発行  
〔編集〕県民活動推進員(魅力発見・発信グループ)



## チャレンジいばらき県民運動

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2階

Tel.029-224-8120 Fax.029-233-0030

ホームページ ▶ <https://challenge-ibaraki.jp> E-mail ▶ [info@challenge-ibaraki.jp](mailto:info@challenge-ibaraki.jp)

